

# 令和7年第4回定例会 保健福祉医療委員会資料

## 〔諸般の報告事項〕

- 「茨城をたべよう！野菜パワーで未来を変える健康投資」  
プレゼントキャンペーンの実施状況について ..... 2
- 救急搬送における選定療養費の徴収について ..... 8
- 県立看護大学校の開校準備について ..... 12
- 病院薬剤師の確保について ..... 14

令和7年12月9日  
保 健 医 療 部

# 「茨城をたべよう！野菜パワーで未来を変える健康投資」 プレゼントキャンペーンの実施状況について

保健医療部健康推進課

## 1 現状・課題

- 本県は、「茨城県健康長寿日本一を目指す条例」に基づき、健康寿命の延伸に向け、各種施策に取り組んでいるところであるが、脳血管疾患や心筋梗塞などの循環器疾患等による死亡率が高く、その最大の要因である高血圧の対策強化が重要となっている。
- 一方、本県の特定健診において高血圧に該当して治療が必要な人のうち半数が未治療であるなど、高血圧を放置するリスクへの危機意識の低さが課題となっている。

(参考1) 循環器疾患に係る年齢調整死亡率

区分	男性		女性	
	全国	本県	全国	本県
脳血管疾患	93.8	116.9 (44位)	56.4	71.5 (43位)
急性心筋梗塞	32.5	54.2 (44位)	14.0	23.0 (41位)

(出典：2020年都道府県別年齢調整死亡率（人口10万人対）)

(参考2) 本県の正常血圧の人の全循環器死亡を1.0とした時の死亡リスク

区分	男性	女性
正常血圧	1.0	1.0
高血圧で未治療	1.5	1.3
高血圧で治療中だが管理不良	1.8	1.6

(出典：2022年健診受診者生命予後追跡調査事業報告書)

(参考3) 本県の特定健診で高血圧と判定された人の治療状況

区分	男女計
治療中	49.7%
未治療	50.3%

(出典：KDB補完システムから抽出 ※2023年度特定健診（国民健康保険加入者）を対象)

## 2 目的・ねらい

高血圧は、生活習慣の改善や適切な治療によりそのリスクを下げることが可能であり、日ごろから自分の健康を意識して行動することで、健康的な生活を送れる時間を増やす可能性が高まるところから、これまでの減塩の取組は引き続き実施しながら、よりわかりやすい取組とするため、本キャンペーンを通じて、高血圧のリスクや予防対策の重要性を県民に広く啓発し、行動変容を促していく。

特に県民に実践していただきたい生活習慣・行動として、以下の3つを推進する。

- ① 塩分排出効果のあるカリウムを多く含む野菜の摂取増（国の目標量1日350g）
- ② 血圧測定の習慣化
- ③ 高血圧診断基準（上140／下90以上）を超えた場合の医療機関受診及び適切な治療

### 3 実施内容

県民に実践していただきたい生活習慣・行動を促すため、県内在住の方を対象に、本年9月26日から以下の3つのプレゼントキャンペーンを開始。

内 容	目 的	応募方法
①「野菜を購入した方」に、抽選で県産食材等をプレゼント	・塩分排出効果のある「カリウム」を多く含む野菜の摂取を促進	・県内の食料品店等で、野菜（生野菜、カット野菜、冷凍野菜など）を購入 ・野菜を購入したレシートを撮って、応募フォームから送信
②「血圧を測定した方」に、抽選で県産食材等をプレゼント	・血圧を意識し、測定する習慣づけを促進	・応募期間中に、自宅やドラッグストアなどで1日1回、血圧を計測 ・5回（5日）分の測定記録を応募フォームに入力して送信
③「病院で高血圧症と診断され、降圧剤を処方された方」に、抽選で県産食材等をプレゼント	・高血圧の診断基準を超えている方には、医療機関受診と適切な治療を促進	・処方された降圧剤の調剤明細書の写真を撮って、応募フォームから送信

- 【景 品】**    • 常陸牛煌+野菜等の詰め合わせ 3万円相当      当選人数：10名  
              • 常陸の輝き+野菜等の詰め合わせ 1万円相当      当選人数：60名  
              • 果物+野菜等の詰め合わせ 5千円相当      当選人数：120名

- 【応募期間】**    • 第1弾：令和7年9月26日～11月14日（終了）  
              • 第2弾：令和7年11月15日～令和8年1月9日（実施中）  
              • 第3弾：令和8年1月10日～2月28日

### 4 第1弾キャンペーンの実施状況

- (1) 応募件数    ① 野菜を買ったらプレゼント 6,624件  
                  ② 血圧を測ったらプレゼント 2,436件  
                  ③ 降圧剤処方でプレゼント 425件  
                  合計 9,485件

#### (2) アンケート結果

キャンペーん	項 目	結 果
野菜を買ったらプレゼント	キャンペーンをきっかけに、野菜を+1皿(70g)食べることを意識するようになったか？	・はい 92.6% ・いいえ 3.3% ・未回答 4.1%
血圧を測ったらプレゼント	キャンペーンをきっかけに、定期的に血圧を測ることを意識するようになったか？	・はい 65.3% ・いいえ 4.0% ・以前から意識している 30.7%
降圧剤処方でプレゼント	本キャンペーンは、医療機関受診のきっかけになったか？	・はい 19.8% ・いいえ 2.8% ・以前から治療している 66.1% ・未回答 11.3%

(自由記載の主な意見)

- ・今回のイベントをきっかけに野菜をより多く摂取することを心がけるようになった。
- ・毎朝欠かさず血圧を測る習慣がついた。
- ・こうしたキャンペーンがあると前向きに治療できる。
- ・健康を改めて意識するきっかけになった。

- ・アンケート結果からは、今回のキャンペーン応募をきっかけに、これまで野菜摂取や血圧測定を意識していなかった層が意識するようになったことや、すでに高血圧でありながら未治療だった層の治療開始に繋がっていることが確認でき、県民の行動変容や健康意識向上に一定の効果があったものと考える。
- ・一方、キャンペーンの認知度は十分とは言えず、施策効果を県民全体に広めていくためには、キャンペーンの認知度を更に高め、より多くの県民に対し参加を促していく必要がある。

## 5 今後の対応

キャンペーンの認知度を高めるため、引き続き、県・市町村の各種媒体を活用し広報(HP・SNS等)を行っていくほか、スーパー・直売所・薬局・ドラッグストア等でのチラシ等設置に加え、コンビニでのPOP設置、LuckyFM茨城放送「ラジオ県だより」での広報、健保組合や経済団体等を通じた働き世代への広報など、各方面の関係団体とも連携して県民への周知を強化し、本キャンペーンを通じた県民の行動変容を促すことにより、健康長寿日本一を目指して健康寿命の延伸に取り組んでいく。

いばらきブランド肉 & 米・野菜が当たる!

応募するほど  
当選確率  
UP!

茨城をたべよう!

野菜パワーで未来を変える健康投資

# プレゼントキャンペーン

第2弾 2025年11/15(土) ▶ 2026年1/9(金)



► そのレシート捨てないで! 野菜を買ったレシートの写真を撮ってキャンペーンサイトから応募!

常陸牛煌+  
野菜等詰め合わせ 3万円相当

10名様



常陸の輝き+  
野菜等詰め合わせ 1万円相当

60名様



果物(イチゴ・柿・リンゴ等)+  
野菜等詰め合わせ 5千円相当

120名様



Wチャンス!



鹿島アントラーズ・茨城ロボッツの  
タオルマフラーなどの協賛グッズが当たる!



※写真はイメージです。

※写真はイメージです。

※当選人数は、本キャンペーン及び同時開催している  
キャンペーンへの総応募数に対して当選する数です。  
同時開催中のキャンペーンについては以下をご覧ください。  
※応募対象は茨城県内在住の方となります。

応募方法について  
詳しくはこちら▶



## プラス +1皿 野菜を食べよう!

ご存知でしたか?

茨城県民は循環器疾患での死亡率が全国と比較して高いという事実…  
その要因のひとつが高血圧! 高血圧を予防するために

茨城をたべよう



いばらきベジスタイル  
~野菜350gで高血圧予防~

体内の塩分排出効果のある カリウム を豊富に含む 野菜 の摂取が大切!

同時開催

血圧測定を  
習慣付けましょう!

血圧測定でプレゼント  
キャンペーン

時間や体調によって変化する血圧の  
重要性を知ろう! 1日1回、計5回血圧  
を測ってキャンペーンサイトで入力!



降圧剤処方でプレゼント  
キャンペーン

高血圧の治療を開始する方、継続している  
方、中断してしまっているけど再開する方…。  
調剤明細書の写真を撮って送るだけ!



# いばき高血圧ゼロアクション



茨城ブランド肉と  
米・野菜が当たる!

## 血圧CHECK&治療開始で プレゼントキャンペーン



茨城県

# プレゼントキャンペーン

2025年

第2弾 11/15(土) ▶ 1/9(金)

2026年

応募するほど当選確率UP!

応募方法  
について詳しくは  
こちら▶



※写真はイメージです。

### プレゼント内容

常陸牛煌+野菜等詰め合わせ  
3万円相当

10名様

常陸の輝き+野菜等詰め合わせ  
1万円相当

60名様

果物(イチゴ・柿・リンゴ等)+  
野菜等詰め合わせ  
5千円相当

120名様

### Wチャンス!

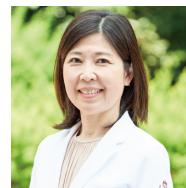


鹿島アントラーズ・茨城ロボッツの  
タオルマフラーなどの協賛グッズが当たる!

※写真はイメージです。



血圧130超えたらアクションを起こし、  
未来の健康を守りましょう



筑波大学医学医療系  
循環器内科 教授  
石津 智子

減塩、野菜や果物を摂る、運動  
する、禁煙する、節酒することが  
大事です。それでも血圧が130  
未満にならないときは、お近くの  
かかりつけ医にご相談をお勧め  
します。

2025年8月に日本高血圧学会は  
新しいガイドラインを作成しまし  
た。日本では毎年10万人の方が  
高血圧が原因の疾患で亡くなっています。**最新のエビデンスに基づく**その人個人の状態に合わせた対  
策をとって、あなたの未来の健康を守りましょう。

※当選人数は、本キャンペーン及び同時開催しているキャンペーンへの総応募数に対して  
当選する数です。同時開催中のキャンペーンについては以下をご覧ください ※応募対象  
は茨城県内在住の方となります。



自宅やドラッグストアなどで  
1日1回、計5回血圧を計測、  
キャンペーンサイトから入力して応募

**血圧測定でプレゼント!**



病院・薬局で発行される  
調剤明細書の写真を撮って応募

**降圧剤処方でプレゼント!**

毎日の生活でも高血圧予防を!  
野菜を買ったらプレゼント

茨城県内の食料品店で野菜を購入して、体内の塩分排出効果のある  
カリウムが豊富な野菜をたくさん摂って高血圧を予防しましょう!

購入した野菜のレシートの写真を撮って応募フォームで送るだけ!



お問い合わせ

いばべジ事務局 (株)日宣メディックス内  
〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町716-3

0120-210-877

茨城県保健医療部 健康推進課  
TEL.029-301-3229

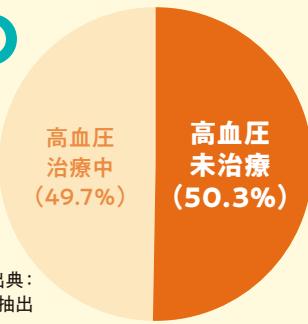


# 高血圧を放置すると、循環器疾患の死亡リスクがあがる！？

突然ですが、茨城県では、特定健診で高血圧に該当し治療が必要な人のうちなんと半数以上の方が高血圧の治療をしていないんです！

※令和5年度特定健康診査受診者（国民健康保険加入者）を対象

出典：  
KDB補完システムより抽出



## 高血圧を放置すると…

- 脳卒中や心不全などの循環器疾患での死亡率が上がる
- 認知症になるリスクが上がる
- 脳卒中や心不全になって一命をとりとめても、寝たきりになる可能性が上がる

実際に、茨城県で脳血管疾患や急性心筋梗塞で亡くなる方は、全国で41位～44位になるなど高血圧などを要因とした生活習慣病による死亡率が全国に比べて高くなっています。

高血圧は生活習慣の改善や適切な治療によって、下げることができるものです。つまり、日ごろから自分の健康を意識して行動する=「健康投資」をすることで健康的な生活を送れる時間を増やす可能性が高くなります。そこで、年齢や健康状態に応じて、高血圧への対策に取り組むことが大切です！

県民の皆さんに

## “特に”実践していただきたい生活習慣、行動は3つ！

### 1 日々の食事で、「1日350g\*の野菜」を摂りましょう！

茨城県では塩分排出効果のある「カリウム」を多く含んだ野菜を1日350g食べて、高血圧を予防することを「いばべジスタイル」として推進しています！茨城県民の野菜摂取量は現在約280g。つまり、1日約70g = 1皿分多く野菜を摂ることで達成できる数値なんです！

\*国が定める野菜摂取量の目標

### 2 血圧を測定する習慣をつけましょう！

一般的に、血圧は加齢とともに上がる傾向があります。日頃から血圧を測定し、血圧の変化を意識することが重要です。食塩摂取量を減らし、野菜を摂ることに加え、運動を取り入れたり、飲酒量を見直したり、生活習慣の改善を意識しましょう。

### (上140/下90以上) 3 高血圧診断基準を超えた場合は治療を受けましょう！

高血圧の診断基準を超えている場合は医療機関を受診し、降圧剤の処方を受けるなど、適切な治療を受けることが大切です。高血圧は、治療を受ければ下げることができる病気です。放置せずに、まずは医療機関に行ってみましょう。



## プレゼントキャンペーン開催!!

応募期間：2025年11月15日（土）～2026年1月9日（金）

当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。応募対象は茨城県内在住の方となります。



### 野菜を買ったらプレゼント！

応募期間中に県内の食料品店で生野菜やカット野菜、冷凍野菜、野菜サラダを購入！購入したレシートを撮って、応募フォームから送信するだけ！

レシートの「店名」と「購入日（応募期間内が対象）」がはっきりと見えるように撮影してください。



### キャンペーンへの応募はスマートフォンで！

右記二次元コードを読み取り、専用のフォームからご応募ください。▶



# 救急搬送における選定療養費の徴収について

保健医療部医療政策課

## 1 概要

- 本県の救急搬送件数は近年増加傾向にあり、その6割以上が一般病床数200床以上の大病院に集中し、約半数は軽症患者が占めていることから、救急医療現場がひっ迫し、救える命が救えなくなる事態が懸念された。
- このため、重篤な救急患者の受入れなど、大病院が本来の役割を果たし、本県の救急医療体制を維持するため、2024年12月2日から、救急車で搬送された患者のうち、救急車要請時の緊急性が認められない場合は、県内の対象病院において選定療養費の徴収を行っている。
- 徴収開始後は、徴収事案や救急搬送等の状況を毎月調査し、県医師会や対象病院の医師、消防本部などの関係者で構成する検証会議において、運用に問題が生じていなかいか等について検証を行っている。

## 2 検証体制

県医師会、県医師会から推薦のあった郡市等医師会（水戸市医師会、つくば市医師会、鹿島医師会）、県病院協会、一般病床数200床以上の病院（※）、消防本部、いばらき消防指令センター、休日夜間診療所を実施している市（水戸市、日立市、土浦市、石岡市、筑西市、常総市、取手市、ひたちなか市、鹿嶋市、笠間市）

（※）一般病床数200床以上の病院

※下線は、救急搬送における選定療養費の徴収の取組に参加する23病院。

選定療養費	医療機関名
徴収義務あり	<p>【水戸市】<sup>1</sup><u>水戸協同病院</u>、<sup>2</sup><u>水戸赤十字病院</u>、<sup>3</sup><u>水戸済生会総合病院</u></p> <p>【笠間市】<sup>4</sup><u>茨城県立中央病院</u> 【茨城町】<sup>5</sup><u>水戸医療センター</u></p> <p>【日立市】<sup>6</sup><u>日立総合病院</u> 【ひたちなか市】<sup>7</sup><u>ひたちなか総合病院</u></p> <p>【東海村】<sup>8</sup><u>茨城東病院</u> 【土浦市】<sup>9</sup><u>土浦協同病院</u>、<sup>10</sup><u>霞ヶ浦医療センター</u></p> <p>【つくば市】<sup>11</sup><u>筑波大学附属病院</u>、<sup>12</sup><u>筑波記念病院</u>、<sup>13</sup><u>筑波メディカルセンター病院</u></p> <p>【龍ヶ崎市】<sup>14</sup><u>龍ヶ崎済生会病院</u> 【取手市】<sup>15</sup><u>J Aとりで総合医療センター</u></p> <p>【牛久市】<sup>16</sup><u>牛久愛和総合病院</u>、<sup>17</sup><u>つくばセントラル病院</u></p> <p>【阿見町】<sup>18</sup><u>東京医科大学茨城医療センター</u></p> <p>【筑西市】<sup>19</sup><u>茨城県西部メディカルセンター</u></p> <p>【古河市】<sup>20</sup><u>古河赤十字病院</u>、<sup>21</sup><u>友愛記念病院</u> 【境町】<sup>22</sup><u>茨城西南医療センター病院</u></p>
任意で徴収可能	<p>【日立市】<sup>23</sup><u>ひたち医療センター</u> 【神栖市】<sup>24</sup><u>白十字総合病院</u></p> <p>【つくば市】<sup>25</sup><u>筑波学園病院</u> 【鹿嶋市】<sup>26</sup><u>小山記念病院</u></p>

注 「徴収義務あり」は①特定機能病院、②一般病床数200床以上の地域医療支援病院、③一般病床数200床以上の紹介受診重点医療機関のいずれかである医療機関が、「任意で徴収可能」は①～③に該当しない一般病床数200床以上の病院が該当する。

### 3 運用状況に関する調査結果（2025年9月～10月）（速報値）

#### (1) 選定療養費の徴収件数

対象病院の救急搬送件数は13,287件、徴収件数は413件で、徴収率は3.1%。

対象病院が受け入れた 救急搬送件数 a	うち徴収が行われた件数 b	徴収率 b/a
13,287	413	3.1%

#### (年齢区分別徴収件数)

18歳未満では徴収率5.0%、65歳未満の成人では徴収率4.3%、65歳以上の高齢者では徴収率2.3%。

区分		対象病院への 救急搬送件数 a	徴収件数 b	徴収率 b/a
満18歳 未満	新生児（生後28日未満）	11	0	0.0%
	乳幼児（生後28日以上満7歳未満）	472	27	5.7%
	少年（満7歳以上満18歳未満）	497	22	4.4%
	満18歳未満 小計	980	49	5.0%
満18歳 以上	成人（満18歳以上満65歳未満）	4,219	183	4.3%
	高齢者（満65歳以上）	7,822	181	2.3%
満18歳以上 小計		12,041	364	3.0%
計		13,021	413	3.2%

※対象病院への救急搬送件数には、県外消防本部による救急搬送、年代が不明又は未確定の救急搬送の件数は含まない。

#### (2) 県内消防本部における救急搬送件数

県全体の救急搬送件数は対前年同期比で4.3%の減。

2024年9月～10月 a	2025年9月～10月 b	対前年同期比 b/a
22,799	21,819	95.7% (▲4.3%)

#### (近隣5県との救急搬送件数の比較)

対前年同期比で2県が1.1%～1.6%の減、ほか3県が1.0%～3.5%の増となった中、茨城県は4.3%の減。

県名	2024年9月～10月 a	2025年9月～10月 b	対前年同期比 b/a
福島県	13,911	13,753	98.9% (▲1.1%)
茨城県	22,799	21,819	95.7% (▲4.3%)
栃木県	13,653	14,126	103.5% (+3.5%)
群馬県	15,809	15,555	98.4% (▲1.6%)
埼玉県	59,864	60,474	101.0% (+1.0%)
千葉県	52,555	53,301	101.4% (+1.4%)

### (救急搬送のうち軽症等・中等症以上の件数)

県全体の救急搬送件数のうち、軽症等は対前年同期比で17.2%の減。

傷病程度	2024年9月～10月 a	2025年9月～10月 b	対前年同期比b/a
軽症等	10,618	8,797	82.8% (▲17.2%)
中等症以上	12,181	13,022	106.9% (+ 6.9%)
計	22,799	21,819	95.7% (▲ 4.3%)

### (3) 救急電話相談の実績

おとな#7119が対前年同期比で8.8%増の12,152件、子ども#8000が12.7%減の9,243件となり、応答率は6.5%増の98.3%。

区分	相談件数			応答率
	おとな#7119	子ども#8000	計	
2024年9月～10月 a	11,167	10,593	21,760	91.8%
2025年9月～10月 b	12,152	9,243	21,395	98.3%
差 b-a	+985 (+8.8%)	▲1,350 (▲12.7%)	▲365 (▲1.7%)	+6.5%

### (4) 問い合わせ窓口の相談件数

9月～10月の問合せは9件で、徵収されたことへの不満は2件。

分類	件数	主な内容
制度・取組に関する質問	4	・交通事故のむち打ちで搬送されたら徵収されるか。 ・救急車が有料化されたと聞いた。料金は救急車で払うのか。
徵収されたことへの不満の申し立て	2	・緊急性があると思い救急車を呼んだが徵収された。
その他(県への要望)	3	・日頃の健康管理の必要性を広報してほしい。 ・徵収例をもっと広報してほしい。
計	9	

### (5) 対象病院及び救急隊の現場でトラブルとなった事案

対象病院及び消防本部から、医療や救急の現場における大きなトラブルの報告は無かった。

※徵収されたことへの患者から病院への不満等は見られたが、県が患者と病院の間に入り個別に調整している。

### (6) 救急車の呼び控えにより重症化した事例

該当事例があれば報告するよう要請した県内の医療機関、消防本部等からの報告は無かった。

#### 4 学校現場への対応

- ・ 学校現場で緊急と判断した場合はためらわざ救急車を要請いただくこと、判断に迷った場合は救急電話相談にご相談いただくこと、救急電話相談で救急車を要請するよう助言があれば原則徴収されないこと、対応に苦慮する事案があれば県にご相談いただくことについて、市町村教育委員会に対し説明会（3/5）、通知（4/17）等で改めて周知。
- ・ 加えて、教育庁においても、7月に救急搬送における救急電話相談及び救急車要請等に関するフロー図を作成し、市町村教育委員会等に通知。
- ・ 11月には市町村教育委員会と運用状況に関する意見交換を行ったが、4月以降、学校の判断で救急車を呼び徴収された事例は無く、対応に苦慮する事案の相談事例も無し。
- ・ また、学校現場における救急搬送件数については、報告に伴う市町村教育委員会及び学校現場の負担を考慮し、今後は、各消防本部から県救急医療情報システムに報告があった搬送データから県が抽出し、市町村教育委員会と共有していく。

#### 5 今後の対応

今月19日に開催する検証会議では、9月～11月分の検証に加え、徴収開始から1年間の総括について検証を行い、結果については、検証会議での意見を踏まえたうえで、年内を目途に公表予定。

また、県民の更なる理解促進に向けて、本制度及び救急医療機関の適正受診について一層の周知啓発に取り組んでいく。

##### （周知啓発等の主な内容）

- (1) 県ホームページ、公式Xを活用した広報（随時）
- (2) 県広報紙ひばりを活用した広報
  - ア ひばり7月号に広報用リーフレットを折り込み配付（74万部）
  - イ ひばり11月号に救急医療機関の適正受診に係る広報を掲載予定
- (3) LuckyFM「ラジオ県政スポット」(6/2～6/6、6/9～6/13放送)、Yahoo!くりし（毎月）等を活用した広報
- (4) ネットリサーチ「救急医療」に関する調査による認知度調査（7月）
- (5) 市町村へ広報紙等での周知啓発を依頼（7月、10月）
- (6) 医療機関、消防本部、関係機関等（約4,800か所）へのポスター配付（8月）
- (7) 茨城新聞を活用した政策広報（12月22日掲載予定）
- (8) 市町村及び県内薬局への救急電話相談周知啓発シール（母子健康手帳、お薬手帳貼付用）の配付（12月予定）
- (9) 県内全小中学校児童生徒への救急電話相談周知啓発マグネットシートの配付（2月予定）

# 県立看護大学校の開校準備について

保健医療部医療局医療人材課

## 1 概要

高齢化の進展や社会ニーズの変化により、看護師には一層幅広い知識や高度な実践力が求められている。

こうした状況を踏まえ、質の高い看護師を安定的に育成することを目的として、県立中央看護専門学校の看護学科を4年制へ移行し、令和8年4月の県立看護大学校開校に向け、入学者確保をはじめとした各種準備を進めている。

## 2 主な取組状況

### (1) 高校生等へのPR

#### ① オープンキャンパス

計6回開催し、高校生等369名（昨年度232名）に対して、看護大学校の魅力等を説明

※現地開催4回、オンライン開催2回（5～8月実施）

#### ② 高校訪問

県内22校を訪問し、高校の進路相談担当教員に対して、看護大学校への進学メリット等を説明

#### ③ 進学相談会

県内高校や民間企業が実施する進学相談会などに計22回参加し、学生201名（昨年度163名）に対して、看護大学校の魅力等を説明

### (2) 入学試験の実施

#### ① 推薦入学試験

県内の高校35校から、定員20名に対し60名（昨年度35名）が応募  
(倍率3倍)

#### ② 一般入学試験

県内外の高校など35校から、定員20名に対し78名（昨年度32名）が応募  
(倍率3.9倍)

### (3) カリキュラムの策定

実践的な看護能力を養成するため、病院等での実習時間を増加させるとともにシミュレーション教育を中心とした学内演習にも力を入れるなど、学生の看護実践能力の向上を見込めるカリキュラムを策定済み。

### 3 スケジュール

年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
看護学科 (4年制) 定員 40名			<b>最初の 学生募集</b>	<b>第1期生 入学</b>	⇒	⇒	<b>第1期生 卒業</b>
看護学科 3年課程 (現行) 定員 40名	⇒	<b>最後の 学生募集</b>	2025度生入学	⇒	2025度生卒業		

### 4 今後の対応

令和8年4月の開校から質の高い教育を提供していくために、新たなカリキュラムに基づく授業準備を進めていく。

また、引き続き、高校生を中心とした若い世代に対し、オープンキャンパスや高校訪問、各種広報媒体を活用したPRを継続し、県立看護大学校への理解と関心を高め、継続的に学生が集まる魅力のある学校になるように取り組む。

# 病院薬剤師の確保について

保健医療部医療局薬務課

## 1 現況

令和5(2023)年6月に厚生労働省が公表した「薬剤師偏在指標」により、本県の病院薬剤師の指標は0.67(全国39位)と、薬剤師少数県に区分され、病院薬剤師の確保が課題となっている。

## 2 主な取組状況

将来の薬剤師の確保に向け、県内の高校生等に対する各種施策を実施

- ① 高校生等を対象とした夏休み職場体験会・薬学部体験ツアー
  - ・県内5病院における病院薬剤師職場体験会に中学生及び高校生34名が参加(当初定員20名に対し約80名の応募があったため、定員を1.5倍に増やして実施)  
\*好評につき来春にも開催予定
  - ・今年度新たに、順天堂大学において薬学部体験ツアーを実施し、高校生38名が参加



病院薬剤師職場体験会での調剤  
体験の様子



薬学部体験ツアーでの体験実習の  
様子(赤血球を電子顕微鏡で観察)

### ② 経済的支援施策

- ・地域医療薬剤師修学資金貸与事業〔順天堂大学2名/年〕  
今年度8名(昨年度比2倍)の応募があり、うち2名が合格

### ③ 事業の周知・広報

- ・県内高校へのチラシやポスターの送付及び学校訪問等を実施
- ・各種広報媒体(広報紙ひばり、県ホームページ、X(旧Twitter)、YouTube、インスタグラム等)を活用して各種情報を発信

## 3 今後の対応

体験会等の実施に加え各種広報媒体を活用し、多くの生徒等に興味を持ってもらうとともに、修学資金貸与等の経済的支援施策を着実に進めていくことにより、将来の地域医療を担う病院薬剤師の養成・確保に取り組んでいく。

令和 7 年第 4 回定例会  
保健福祉医療委員会資料

〔議案関係〕

- 第 160 号議案 工事請負契約の変更について ((仮) 土浦保健所他改築工事) …… 2  
○第 163 号議案 令和 7 年度茨城県一般会計補正予算 (第 5 号) ..... 3

令和 7 年 12 月 9 日  
保 健 医 療 部

## 提出議案（条例は除く）の概要

保健医療部 保健政策課

議案の名称	工事請負契約の変更について ((仮) 土浦保健所他改築工事)																							
1 契 約 額	既 契 約 額 803,000千円 今回増減額 54,670千円増 変更契約額 857,670千円																							
2 現況・課題	土浦保健所については、築50年を経過し、老朽化・狭隘化が進んでいることから、新興感染症対策や大規模災害時の健康危機管理の司令塔としての機能を強化するため、令和6年度から建替工事を進めている。																							
3 必要性・ねらい	契約締結後に地中埋設物撤去工事の追加等が生じたため、請負代金額を増額変更するものである。																							
4 内 容	(1) 工事の概要 ア 工事名 (仮) 土浦保健所他改築工事 イ 工事場所 土浦市下高津地内 ウ 構造規模 地上1階建木造 エ 延べ面積 2,059.27 m <sup>2</sup> オ 工期 令和6年12月17日から令和8年3月6日まで ※隣接している県南食肉衛生検査所も一体的に整備  (2) 契約相手方 山本・池田特定建設工事共同企業体 代表者 土浦市東崎町11番5号 株式会社山本工務店 代表取締役 山本 一廣  (3) 契約日 令和6年12月17日																							
5 参考事項	<b>【工事スケジュール】</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>令和4年度 (2022年)</th> <th>令和5年度 (2023年)</th> <th>令和6年度 (2024年)</th> <th>令和7年度 (2025年)</th> <th>令和8年度 (2026年)</th> </tr> <tr> <td>基本設計</td> <td>実施設計</td> <td>工事</td> <td></td> <td>供用開始</td> </tr> </table> ※供用開始日は、2026年3月下旬を予定。 <b>【現庁舎の概要】</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>所在地</td> <td>土浦保健所</td> <td>県南食肉衛生検査所</td> </tr> <tr> <td>開設</td> <td>昭和47年(1972年)</td> <td>昭和46年(1971年)</td> </tr> <tr> <td>面積</td> <td>1,331.40 m<sup>2</sup></td> <td>368.09 m<sup>2</sup></td> </tr> </table>					令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)	基本設計	実施設計	工事		供用開始	所在地	土浦保健所	県南食肉衛生検査所	開設	昭和47年(1972年)	昭和46年(1971年)	面積	1,331.40 m <sup>2</sup>	368.09 m <sup>2</sup>
令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)																				
基本設計	実施設計	工事		供用開始																				
所在地	土浦保健所	県南食肉衛生検査所																						
開設	昭和47年(1972年)	昭和46年(1971年)																						
面積	1,331.40 m <sup>2</sup>	368.09 m <sup>2</sup>																						

## 第 163 号議案

### 令和 7 年度 茨城県一般会計補正予算（第 5 号）

#### ○ 一般会計補正予算（保健医療部分）

【今回分】

(単位：千円)

事項	予算額	特定財源種目金額	一般財源
保健医療部 計	201,800	—	201,800

【歳出項目別】

(単位：千円)

款名 項目名	補正前の額 (A)	今回補正額 (B)	計 (A+B)
6 保健医療費	143,875,545	201,800	144,077,345
1 保健医療費	112,448,318	46,125	112,494,443
2 保 健 所 費	3,359,087	63,366	3,422,453
3 医 薬 費	13,549,218	56,464	13,605,682
4 環境衛生費	1,363,606	20,521	1,384,127
5 公衆衛生費	13,155,316	15,324	13,170,640

※ 人事委員会勧告に基づく、職員及び会計年度任用職員の給与改定等に要する経費の補正